

# 副産物情勢

平成30年1月9日

更新

JJA全農ミートフーズ株式会社

項目	内容	備考																									
1.内臓	①国産牛	<p>○平成29年11月成牛と畜頭数は、103.9千頭(前年比100.2%)となり、前年をわずかに上回った。 内訳を見ると、和牛47.5千頭(前年比99.9%)、交雑牛23.4千頭(同107.4%)、乳牛去勢16.6千頭(同95.4%)であった。 ○平成29年12月の成牛と畜頭数は、速報値(12/28まで集計)で88.1千頭(前年比92.0%)と減少している。 ○(独)農畜産業振興機構が12月22日に公表した牛肉の需給予測によると、1月は1日当たりの出荷頭数およびと畜場稼働日数が下回ると見込まれることから、出荷頭数はやや、生産量はわずかに、いずれも前年同月を下回ると予測している。 ○品種別の1月出荷予測について、和牛は前年をやや下回り、交雑種は酪農家における乳用後継牛への黒毛和種交配率上昇により増加が見込まれる一方で、乳用種は減少が継続すると見込んでいる。 ○需要動向については、赤モノはモノにより依然不足気味であるが、レバー・ハツの動きが鈍ってきた。 シロモノは小腸は動きは良いが、価格が昨年より若干安めである。大腸も堅調である。 より寒さが厳しくなる中で、鍋物等の季節需要を期待したい。</p>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年5月26日</td> <td>34/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月6日</td> <td>30/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年11月19日</td> <td>30/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年6月9日</td> <td>30/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年6月6日</b></td> <td><b>40/枝kg</b></td> <td>9/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>*豚正真物</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg	平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg	平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg	平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg	<b>平成28年6月6日</b>	<b>40/枝kg</b>	9/枝kg			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg																								
平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg																									
平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg																									
平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg																									
<b>平成28年6月6日</b>	<b>40/枝kg</b>	9/枝kg																									
②国産豚	<p>○平成29年11月度全国の肉豚出荷頭数は1,468千頭(農林水産統計12/27公表 前年比100.4%)となった。農水省11月28日発表の月出荷予測では、1,483千頭(前年比101%)と予測されており、前年同月は上回ったものの、予測を下回る結果となった。 ○平成29年12月の全国と畜頭数は、速報値で1,346千頭(12/27まで集計)、前年同比95.9%となっている。稼働日数では昨年より1日多い19日となり、1日当たりの平均と畜頭数は速報値段階で70,863頭となっている。 ○農水省食肉鶏卵課平成29年11月28日付 肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は平成30年1月1,434千頭(前年同月比103%) 2月1,310千頭(100%)、3月1,413千頭(98%)、4月1,347千頭(102%)、5月1,394千頭(103%)となっている。 ○需要動向について、引き続きアカモノは全体的に堅調である。タンは相変わらず好調である。レバーも安値ではあるが堅調である。 シロモノも同じく全体的に動きよい。需要期なので小腸・直腸引き合い強いが、市中の在庫は多そうである。ハツ・ガツともコンビニ・量販手需要で堅調である。豚足は非常に引き合いが強い。</p>	<p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年3月10日</td> <td>50/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成20年5月1日</td> <td>50/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成23年6月20日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月13日</td> <td>30/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年5月30日</b></td> <td><b>40/枝kg</b></td> <td>5/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>*H23.4.1から枝重500kg以上が510kg未満に改定</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg	平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg	平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg	平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg	<b>平成28年5月30日</b>	<b>40/枝kg</b>	5/枝kg				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg																									
平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg																									
平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg																									
平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg																									
<b>平成28年5月30日</b>	<b>40/枝kg</b>	5/枝kg																									
③輸入牛	<p>○平成29年11月の輸入通関実績によると牛肉輸入量は全体で41.5千ト(前年比95.1%、前月比95.8%)であった。 内訳は、チルドが22.0千ト(前年比104.0%、前月比98.2%)、フローズンは19.6千ト(同86.7%、同93.3%)であった。 チルドビーフについては、豪州産が9.9千ト(前年比96.2%)、米国産は11.1千ト(同113.5%)であった。 ○(独)農畜産業振興機構が12月22日に公表した牛肉の需給予測によると、今後のチルドビーフ輸入量について、主に出荷頭数の増加を背景に米国産の輸入量の増加が見込まれることから、11月～1月の各月で過去5ヶ年平均を大幅に上回る2万1千トを超えて推移すると予測する。 ○平成29年11月の冷凍輸入牛レバーは70.1ト(前年比92.2%・前月比67.4%)であった。国別では米国41.5t、豪州22.0t、墨国6.6tであった。 冷凍輸入牛腸は1,242.7ト(前年比99.0%・前月比83.0%)となった。</p>	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年7月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>110/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>140/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月3日</td> <td>1,000/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,000/枚</td> <td>200/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>170/枚</td> </tr> <tr> <td>平成28年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>150/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td><b>1,500/枚</b></td> <td><b>180/枚</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚	平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚	平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚	平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚	平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚	平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚	平成29年1月23日/16日	<b>1,500/枚</b>	<b>180/枚</b>	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																									
平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚																									
平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚																									
平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚																									
平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚																									
平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚																									
平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚																									
平成29年1月23日/16日	<b>1,500/枚</b>	<b>180/枚</b>																									
2.原皮	①牛原皮	<p>○平成29年11月の輸出実績は、38,987枚(前年比145.6%、前月比122.4%)で、前年・前月とも上回った。輸出平均価格は4,564円/枚(前年比-245円、前月比-200円)と減少となった。 国別実績は、韓国11,805枚(前年比105.8%)、タイ11,142枚(同89.1%)、香港9,400枚(同822.6%)、ベトナム 5,400枚(同276.4%)、台湾1,180枚(同なし)、インドは実績なし。一方、ウエットブルーの輸入は、42.1千枚(前年比56.5%、前月比58.7%)、牛大判皮は37.1千枚(前年比91.0%、前月比78.8%)となった。 ○輸出動向は数量について、ここ4年間で1番目に多い輸出数量の月となっが、価格が下降ぎみである。 ○米国の牛生産頭数が増加し、それに合わせ原皮枚数も増加している。牛原皮の国際価格を押し下げている要因となっている。 また、中国市況の落ち込みと、自動車販売台数低下に連動したカーシート需要が低下している。</p>	<p>4.大阪市場原皮価格 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和ヌキ)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年2月21日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>平成23年7月11日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>70/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月8日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>100/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月10日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>120/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月13日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>130/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td><b>1,800/枚</b></td> <td><b>140/枚</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚	平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚	平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚	平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚	平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚	平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚	平成29年1月23日/16日	<b>1,800/枚</b>	<b>140/枚</b>
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																								
平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚																									
平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚																									
平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚																									
平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚																									
平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚																									
平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚																									
平成29年1月23日/16日	<b>1,800/枚</b>	<b>140/枚</b>																									
②豚原皮	<p>○平成29年11月の輸出合計は、1,022,662枚(前年比98.2%、前月比93.2%)と、前年・前月とも下回った。 輸出価格は809円/枚で前年比+31円、前月比+5円であった。 国別実績は、台湾184千枚(前年比76.3%)、タイ768千枚(同109.0%)、韓国18千枚(同35.7%)、ベトナム38千枚(同109.7%)、フィリピン14千枚(同なし)、香港実績なしであった。 ○輸出動向については、現時点においても輸出量の好調さは継続中で、ヌバック等の需要がその要因と言われている。 しかし、牛皮・羊皮価格とも下落傾向であり、海外には在庫も多く予断を許さない。</p>																										
3.レンジ	①油脂等	<p>○12月渡しの国内産食用加工油脂向け豚脂は前月は保合、前年からは+2円上げの88円(前年比102.3%)となり、牛脂は逆に-3円下げの90円(同96.8%)となった。豚脂は17ヶ月、牛脂29ヶ月の長期保合であったがここに来て価格改定となった。豚脂は外食を中心に「味の差別化」の追い風があるが、牛脂は、ファーストフード大手の店舗整理の影響やフライ需要の減少で下げとなった。 ○11月マレーシア産パーム油相場は、生産量の増加と輸出需要の伸び悩みで、94円と下げとなった。(前月比94.0%、前年比94.0%)。 ○11月の関東飼料用油脂は74円/kgと前月と同様で、前年比+4円となった。工業用油脂は前月・前年と同様の47円/kg。 ○11月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、前月と同様の63円～66円/kg辺り。前年比3円安。</p>	<p>5.油脂価格(食用向け) 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年7月1日</td> <td>91</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成27年8月1日</td> <td>93</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月1日</td> <td>93</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td><b>平成29年11月1日</b></td> <td><b>90</b></td> <td><b>90</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	平成27年7月1日	91	93	平成27年8月1日	93	93	平成28年6月1日	93	88	<b>平成29年11月1日</b>	<b>90</b>	<b>90</b>									
価格改定年月日	牛脂	豚脂																									
平成27年7月1日	91	93																									
平成27年8月1日	93	93																									
平成28年6月1日	93	88																									
<b>平成29年11月1日</b>	<b>90</b>	<b>90</b>																									